

新たな視点で民俗芸能の「未来」を語る。
第2回『民俗芸能交流サロン 2025』12月6日に開催！

京都郷土芸能「活性化してやろう」会（所在：京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46 会長代行：加納敬二）は12月6日土曜日14時から、第2回『民俗芸能交流サロン2025』と題し、京都芸術センター（京都市中京区蛸薬師下る山伏山町546-2 元明倫小学校）で開催します。ゲストに中堂寺六斎会（会長：秋田吉博氏）、嵯峨大念佛狂言（会長：松井嘉伸氏、出演は事務局長の加納敬二氏）、全日本郷土芸能協会常務理事、小岩秀太郎氏をお招きし、民俗芸能や古典芸能の現状や今後の継承、未来への展望を、課題を共有しながら語っていただく、新しい視点の芸能イベントです。会場では芸能の実演もあり、その迫力ある演技もお楽しみいただけます。

第2回『民俗芸能交流サロン2025』

日時：令和7年12月6日土曜日 14:00～16:30（13:30開場・受付）

場所：京都芸術センター講堂（京都市中京区蛸薬師下る山伏山町546-2 元明倫小学校）

参加費：1,000円（当日徴収）

定員：100名 事前申込制（お席に余裕がある場合は当日参加も可能）

主催：京都郷土芸能「活性化してやろう」会

共催：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会）

後援：公益社団法人全日本郷土芸能協会、公益財団法人京都市文化観光資源保護財団、
京の風流踊振興会

協力：中堂寺六斎会、嵯峨大念佛狂言保存会、

京都市文化市民局文化芸術企画課 京都市文化市民局文化財保護課

京都郷土芸能「活性化してやろう」会 申込URL：<https://www.imaami.com/salon/>

民俗芸能の「未来」を語る。

第2回 民俗芸能交流サロン 2025
Folk performing arts Salon

令和7年 (2025) 12.6 土

14:00～16:30 (開場・受付13:30)
京都芸術センター 講堂

土蜘蛛
獅子舞

実演とクロストーク

出演 中堂寺六斎念仏 嵯峨大念佛狂言

主催：京都郷土芸能「活性化してやろう」会
共催：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会）

伝統芸能文化
創造プロジェクト

京都郷土芸能「活性化してやろう」会（会長：浅野高行）は、京都各地の郷土芸能団体や古典芸能団体を繋ぐ役割を担うため、令和5年6月に発足しました。近年、各芸能団体で大きな問題となっている継承者不足などの諸問題を独自のネットワークと視点で地域の伝統文化の活性化、解決を目指して活動しています。

民俗芸能交流サロンは、京都郷土芸能「活性化してやろう」会が主催するイベントで、郷土芸能の未来の担い手育成および発掘に向けて、各芸能団体が定期的につどい、課題を共有できるように開催しています。昨年度は、令和6年7月6日土曜日、11月3日日曜日（祝日）の2回を開催。令和7年6月21日土曜日には本年度の第1回として駒田早代氏の長唄三味線の演奏と宇治田楽まつりの実演、クロストークを開催いたしました。

また、「郷土芸能の若手継承へ向けたネットワークの構築と発信手法の探索」（令和5年度「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」採択事業）の取り組みとして、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスと共に、中堅若手世代の民俗芸能関係者が集う「民俗芸能交流会」を開催しています。

■プログラム

実演 **中堂寺六斎念仏** 『四つ太鼓』、『祇園ばやし』、『獅子と土蜘蛛』（中堂寺六斎会）

クロストーク **「民俗芸能における未来像～創作と伝承」**

小岩秀太郎氏（公益社団法人全日本郷土芸能協会 常務理事）

秋田 吉博氏（中堂寺六斎会 会長）

加納 敬二（嵯峨大念佛狂言保存会 事務局長）

実演 **嵯峨大念佛狂言** 『土蜘蛛』（嵯峨大念佛狂言保存会）

司会進行 金ヶ江七海氏

■今後の展開

このイベントを通して、民俗芸能や古典芸能の抱える問題を共有し、参加者で解決策を探り、自身の芸能団体へ持ち帰り実践してもらえるように展開していきます。また、10年後、30年後の未来ビジョンを考えることにより、これからの郷土芸能の希望ある未来を確立する手掛かりとして参ります。

※本事業は、令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受けて実施しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

京都郷土芸能「活性化してやろう」会

担当：藤原 圭（委託）

TEL：080-6134-5549

Mail:k-fujiwara@ftstandard.jp